

## 新生 浜岡中学校が始動

令和元年12月20日から改築工事が始まり、約2年の歳月を経て令和3年2月26日に待望の新校舎が完成しました。3月8日から新しい学びやで新生活をスタートさせています。

市は、浜岡中学校を建設する際、同校がこれまで以上に地域に根付いていく施設になるよう、5つのコンセプトを設けました。

① **学ぶ意欲を高める学びや**  
学習環境の質的向上につながる、高機能かつ多機能で将来の環境変化に対応できる施設

② **安心・安全な学びや**  
生徒や教職員の「使いやすさ」と「安全」に配慮し、災害対策に対応できる施設

## ③ 生徒と地域が誇れる学びや

環境に配慮するとともに、地域のシンボルとして親しみやすく誇りを持てる施設

## ④ 自然環境を考えたゆとりある学びや

現校舎と同位置に配置することで、近隣の飛砂防止対策となる施設

## ⑤ 地域とともに高め合う学びや

地域住民が集いやすい環境  
浜岡中学校は、以上5つのコンセプトの下、未来を担い社会で活躍する子どもたちを育てていきます。

## 先進的な発想が満載

市は新校舎を先進的な方法で建設しました。まずは「デザインビルド」方式の採用。  
建設を担当した高田教育総務

課長は「デザインビルドとは、設計から施工までの一貫工事の契約を行う方式のことです。この方式を採用した理由は施工期間の短縮で、仮校舎で生活する生徒や教職員にかかる負担軽減やコスト削減などを考慮してのことです。浜岡中学校は全国的に見ても新しいスタイルで建設された校舎だと言えます」と話します。

「建設方法」だけでなく、新校舎の「造り」も従来の校舎とは一線を画しています。「校内すべてを無線LANでつなげ、各教室にICTを導入」「教職員や生徒が効率良く施設を利用できる仕組み」「生徒のコミュニケーションの輪が広がる工夫」など、校舎内には最新の設備やおもしろいアイデアなどが盛りだくさんとなっています。次のページで概要を紹介します。



## 日々の生活を充実させて成長していきたい



生徒会長 **鈴木 遥貴**くん

この新校舎は、浜中生がこれまで以上に勉強や部活動を頑張るために建てられたものだと思うので、一生懸命取り組んでいきたいです。

これから生徒会が取り組んでいくことは「新校舎利用のルール作り」です。すべての生徒が生活しやすい校舎にするため、「目安箱」を設置して生徒の声を集め、ルール作りの参考にしたいです。

## 現代社会で輝く人材に育ててほしい



御前崎市市長 **柳澤 重夫**

現代社会は目まぐるしい早さで「情報社会」へと移り変わっています。そのため、子どもたちにとって必要になる教育は「新しいことを自ら学ぶ姿勢」を養うことです。生徒の皆さんには、授業で先生から教えてもらうだけでなく新しいことを自ら学び、主体的に学習に取り組むことで、これからの社会で活躍していただきたいと思います。